

平成30年9月18日の大雨に関する 東京都気象速報

目 次

- 1 概要
- 2 気象の状況
 - (1) 気象概況
 - (2) 地上天気図及び気象衛星赤外画像
 - (3) 高層天気図
 - (4) 雨の状況
 - (5) 気象官署とアメダスの極値更新状況
 - (6) 危険度分布
- 3 特別警報・警報・注意報、気象情報等の発表状況
 - (1) 特別警報・警報・注意報
 - (2) 府県気象情報
 - (3) 土砂災害警戒情報
 - (4) 指定河川洪水予報
 - (5) 竜巻注意情報
 - (6) 記録的短時間大雨情報
- 4 東京管区気象台の対応状況
- 5 被害の状況

平成30年10月2日

東京管区気象台

注) この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。

1 概要

9月18日夕方から夜遅くにかけて、関東甲信地方は大気の状態が不安定となったため、東京都では23区西部を中心に大雨となり、浸水害などの被害が発生した。

このときの気象状況をとりまとめ、公表する目的で本資料を作成した。
本資料は10月1日17時現在のものである。

2 気象の状況

(1) 気象概況

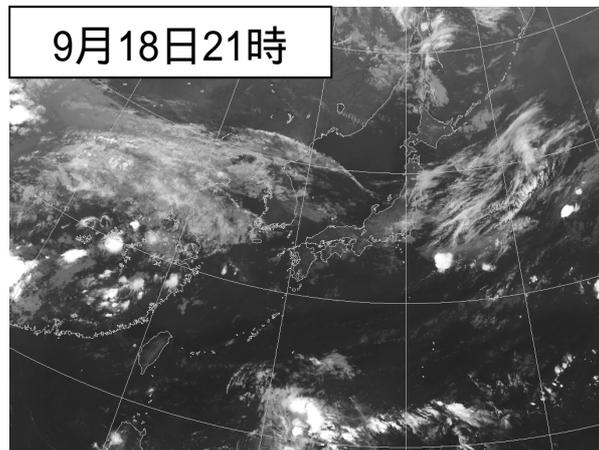
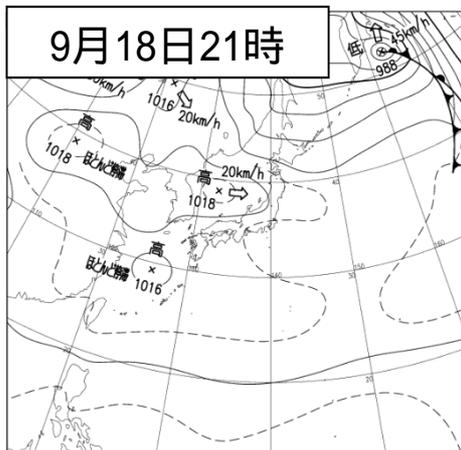
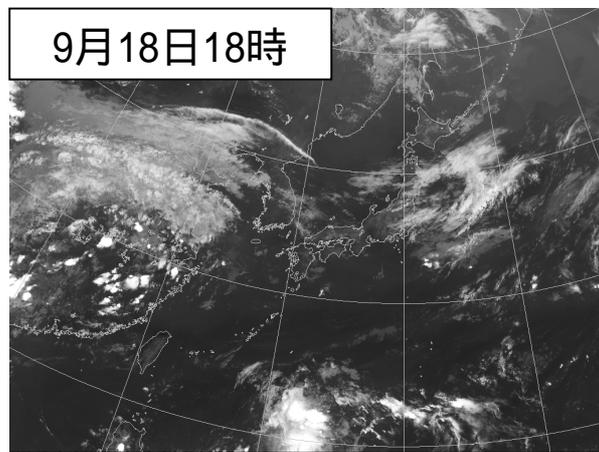
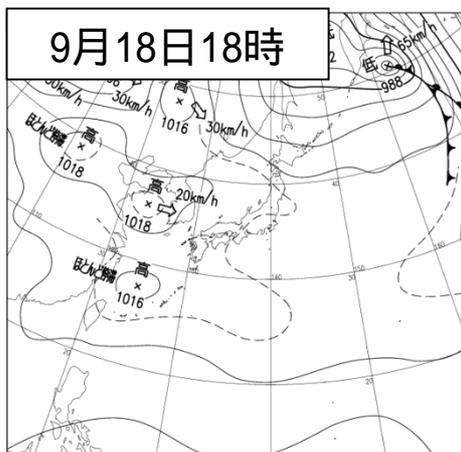
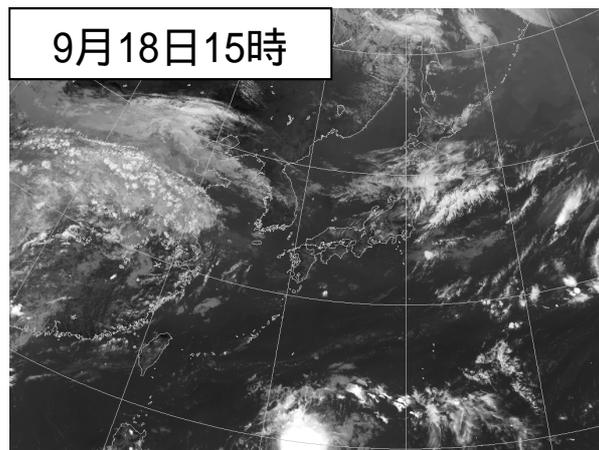
9月18日夕方から夜遅くにかけて、関東甲信地方の上空約5500メートルには氷点下9度以下の寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

このため、東京都では、18日夕方から積乱雲が発達し、夜遅くにかけて雷雨となった。1時間降水量は、解析雨量では板橋区付近で約90ミリ（19日18時00分）、大田区付近で約90ミリ（18日19時30分）の猛烈な雨を解析し、気象官署やアメダスでは、東京で38.5ミリ（18日19時48分）の激しい雨を観測した。18日14時から19日01時までの総降水量は、解析雨量（11時間積算）では23区西部で100ミリを超えた所があった。

解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。

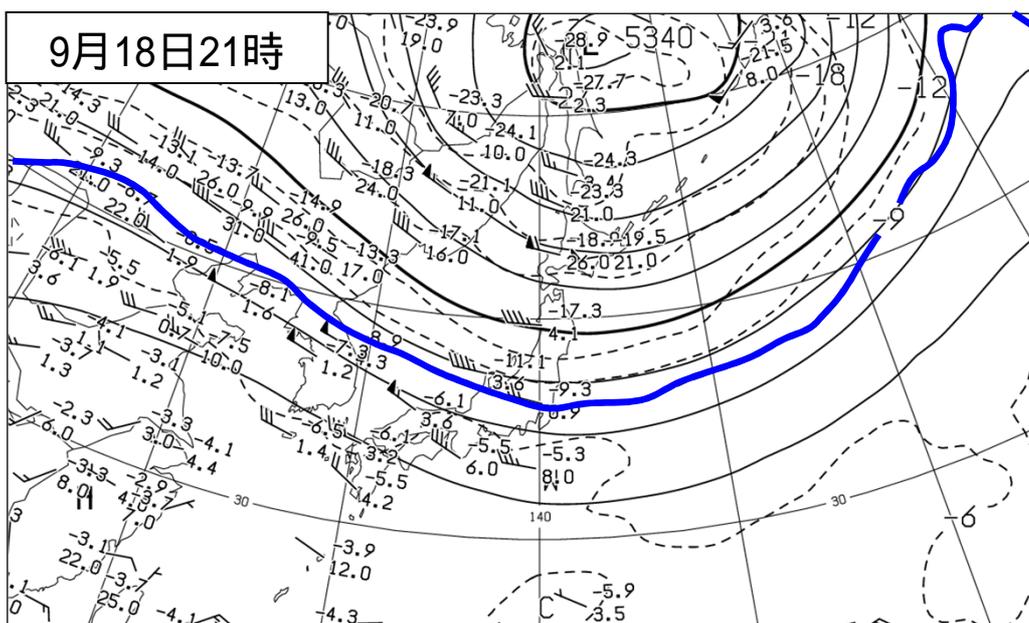
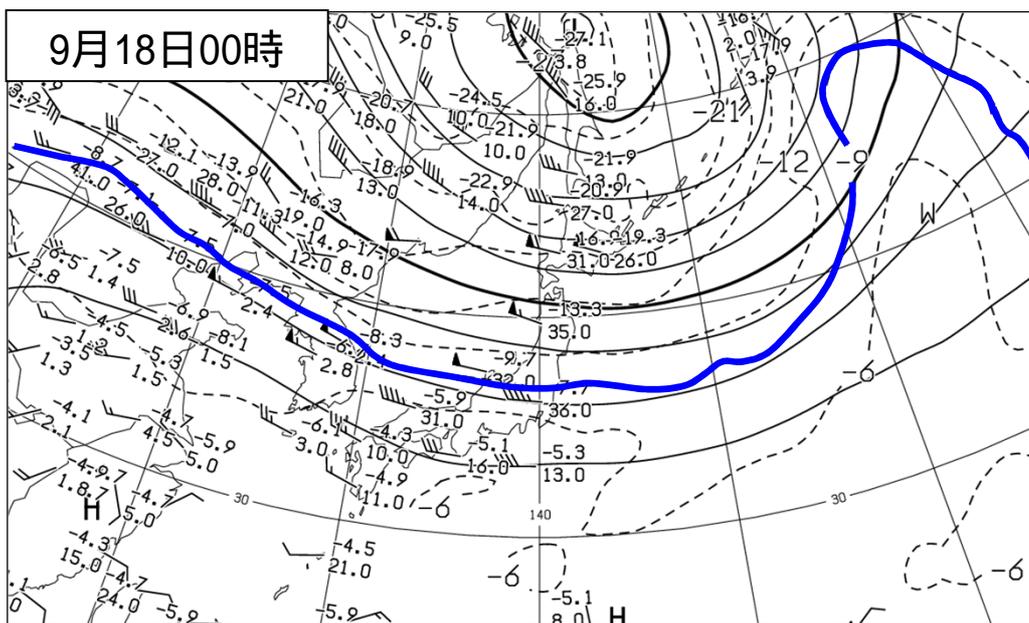
(2) 地上天気図及び気象衛星赤外画像

平成30年9月18日15時～21時（3時間毎）



(3) 高層天気図

平成30年9月18日00時、及び21時



上空5500m付近の天気図 (500hPa)
黒破線：気温、青線：-9、黒実線：高度

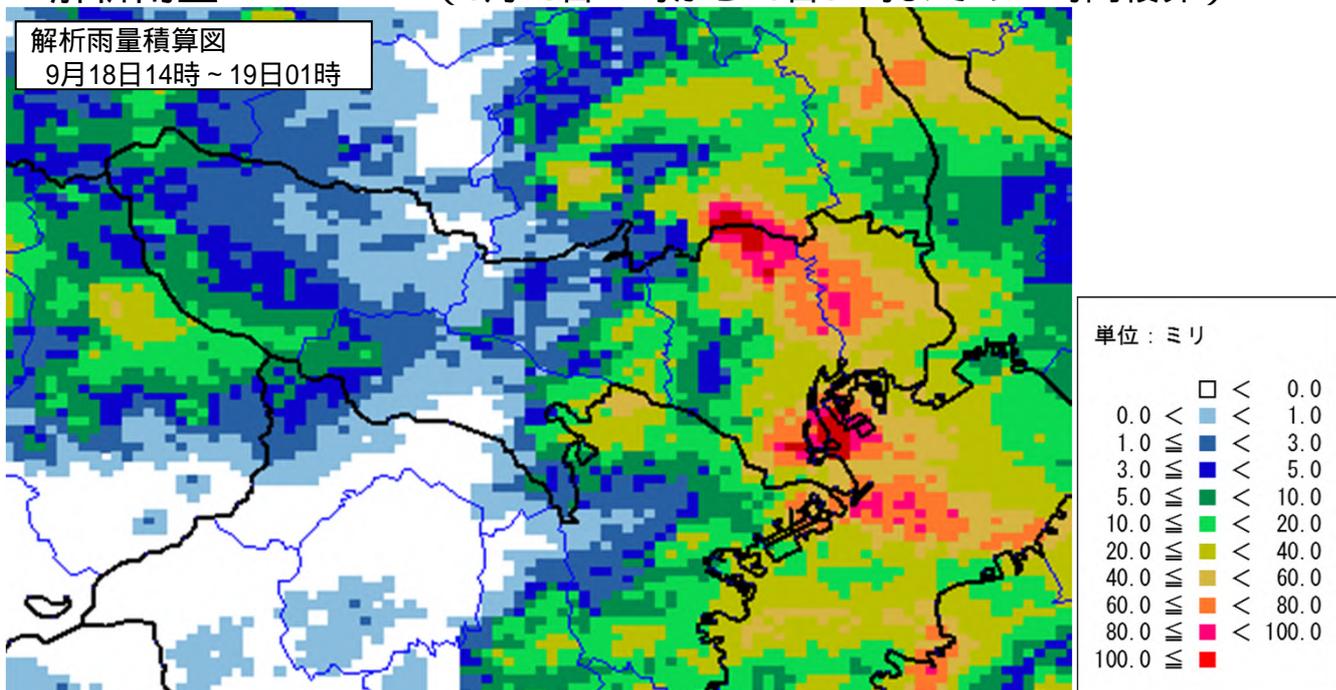
(4) 雨の状況

東京都では18日夕方から夜のはじめ頃にかけて雷雨となった。1時間降水量は、解析雨量では板橋区付近で約90ミリ（19日18時00分）、大田区付近で約90ミリ（18日19時30分）の猛烈な雨を解析した。気象官署やアメダスでは、東京で38.5ミリ（18日19時48分）の激しい雨を観測した。

18日14時から19日01時までの総降水量は、解析雨量（11時間積算）では23区西部で100ミリを超えた所があった。気象官署やアメダスでは、東京及び江戸川臨海で40.5ミリを観測した。

解析雨量

（9月18日14時から19日01時までの11時間積算）



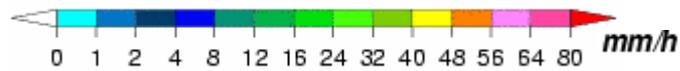
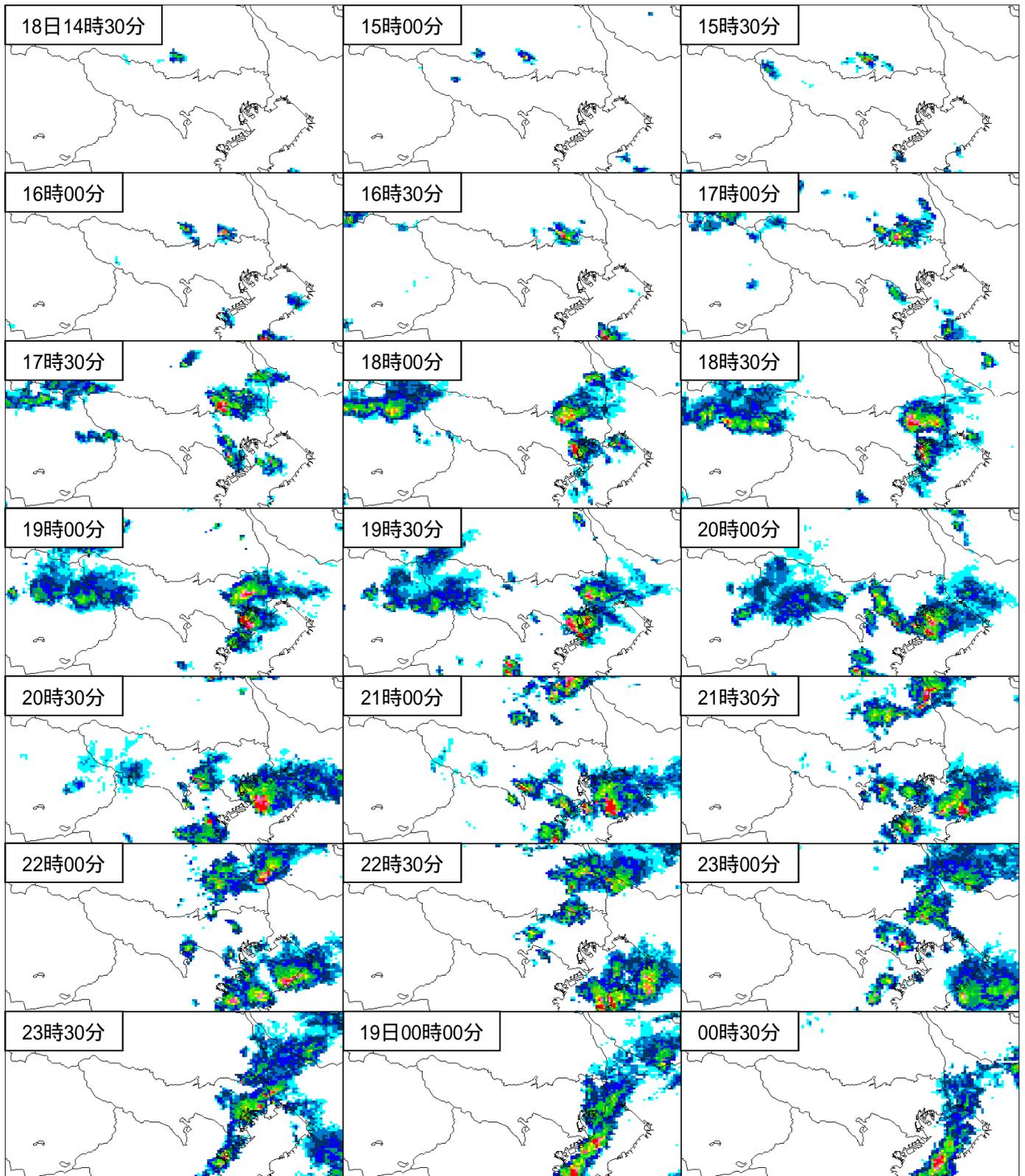
解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1 km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。

雨の強さと降り方

1時間雨量	雨の表現	人の受けるイメージ	人への影響	屋内	屋外	車の運転
10mm ～20mm	やや 強い雨	ザーザーと降る	地面からの 跳ね返りで 足元がぬれる	雨の音で 話し声が 聞こえにくい	地面一面に 水たまりが できる	
20mm ～30mm	強い雨	どしゃ降り	傘を さしていても ぬれる			ワイパーを速くしても 見づらい
30mm ～50mm	激しい雨	バケツを ひっくり返した ように降る	寝ている人の 半数くらいが 雨に気がつく		道路が 川のように なる	高速走行時、車輪と路面 の間に水膜が生じブ レーキが効かなくなる (ハイドロプレーニン グ現象)
50mm ～80mm	非常に 激しい雨	滝のように降る (ゴーパーと降り続く)	傘は全く役に 立たなくなる		水しぶきで あたり一面が 白っぽくなり、 視界が悪くなる	車の運転は危険
80mm ～	猛烈な雨	息苦しくなるような 圧迫感がある。 恐怖感を感じる。				

レーダー画像 東京地方

平成30年9月18日14時30分～19日00時30分（30分毎）



気象官署とアメダスの期間降水量表
(伊豆諸島・小笠原諸島を除く)

平成30年9月18日14時～19日01時

気象官署

市区町村名	観測地点名	18日	19日	合計
		(14時～)	(～1時)	
		(mm)	(mm)	(mm)
千代田区	東京	40.5	0.0	40.5

アメダス

市区町村名	アメダス地点名	18日	19日	合計
		(14時～)	(～1時)	
		(mm)	(mm)	(mm)
西多摩郡奥多摩町	小河内	1.0	0.0	1.0
西多摩郡檜原村	小沢	4.5	0.0	4.5
青梅市	青梅	0.0	0.0	0.0
練馬区	練馬	6.0	0.0	6.0
八王子市	八王子	0.5	0.0	0.5
府中市	府中	1.0	0.0	1.0
世田谷区	世田谷	3.5	0.0	3.5
江戸川区	江戸川臨海	34.5	6.0	40.5
大田区	羽田	36.5	0.0	36.5

気象官署とアメダスの期間最大1時間降水量表
(伊豆諸島・小笠原諸島を除く)

平成30年9月18日14時～19日01時

気象官署

市区町村名	観測地点名	降水量(mm)	月日	時分
千代田区	東京	38.5	9/18	19:48

アメダス

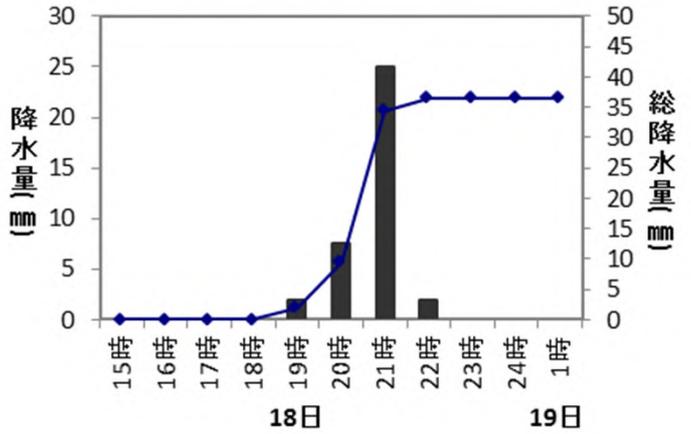
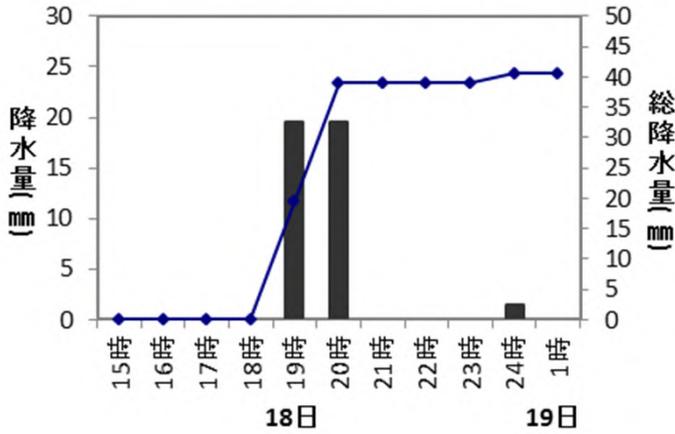
市区町村名	アメダス地点名	降水量(mm)	月日	時分
西多摩郡奥多摩町	小河内	0.5	09/18	21:09
西多摩郡檜原村	小沢	4.0	09/18	19:51
青梅市	青梅	0.0		
練馬区	練馬	6.0	09/18	20:53
八王子市	八王子	0.5	09/18	20:54
府中市	府中	1.0	09/18	23:06
世田谷区	世田谷	2.5	09/18	21:41
江戸川区	江戸川臨海	17.0	09/19	00:38
大田区	羽田	28.5	09/18	20:46

(特)は特別地域気象観測所
「-」は「降水なし」を示します。
「0.0」は「降水量 0.5mm 未満」を示します。

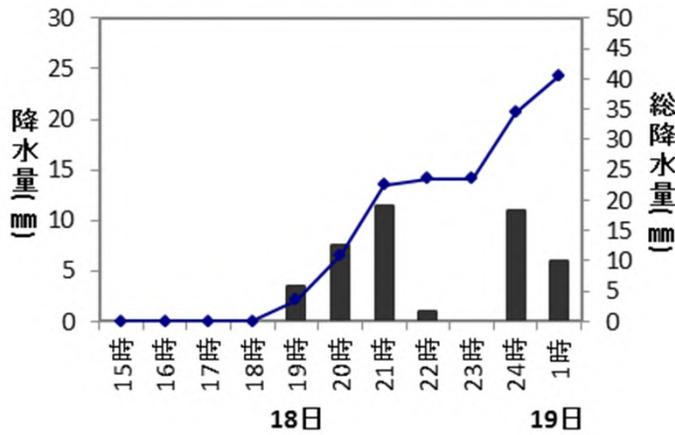
降水量の推移（主な3地点）

東京（東京都千代田区）

羽田（東京都大田区）



江戸川臨海（東京都江戸川区）



(気象庁ホームページより)

赤丸は表示地点

(5) 気象官署とアメダスの極値更新状況

平成30年9月18日～19日

気象官署

統計開始以来の極値更新

極値更新はありませんでした。

9月としての極値更新

極値更新はありませんでした。

アメダス（統計期間10年以上の観測所）

統計開始以来の極値更新

極値更新はありませんでした。

9月としての極値更新

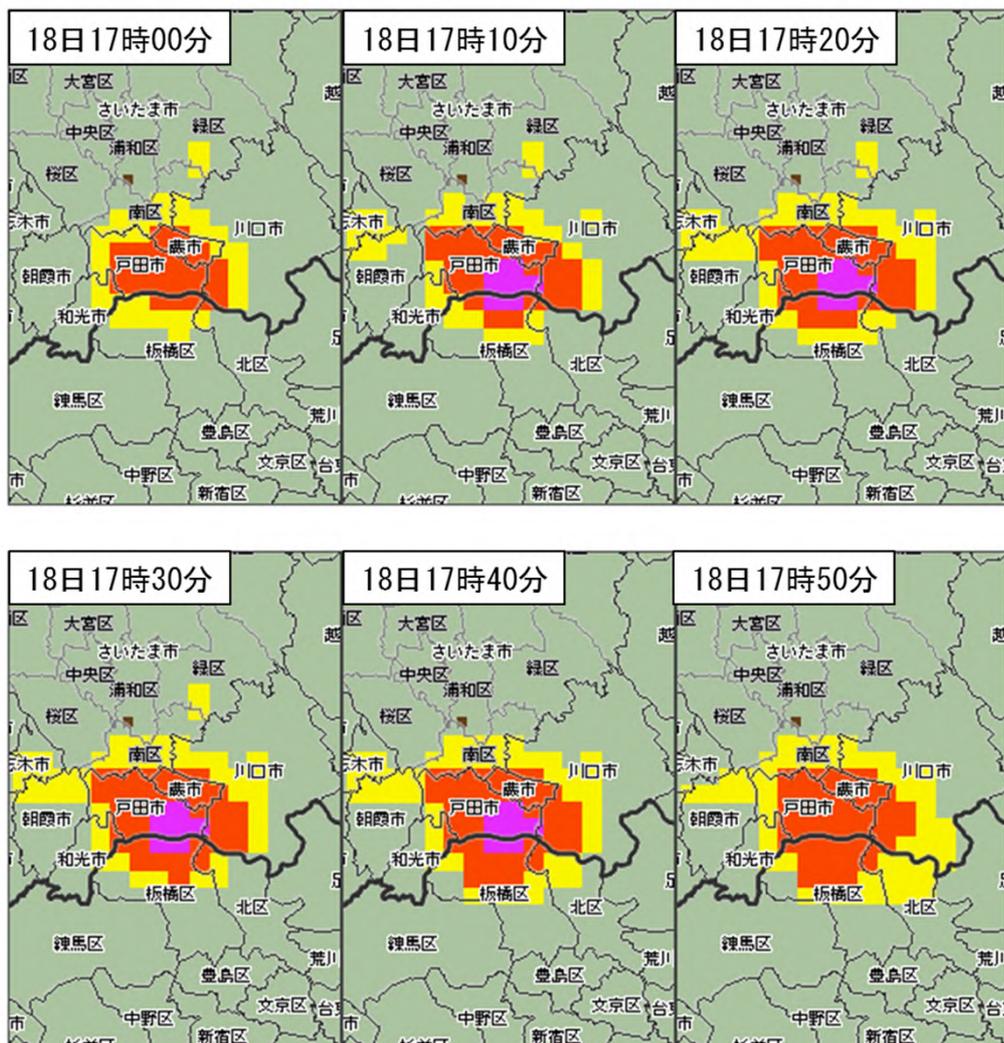
極値更新はありませんでした。

(6) 危険度分布 (土砂災害警戒判定メッシュ情報、大雨・洪水警報)

大雨警報 (浸水害) の危険度分布では、解析雨量 で約90ミリの猛烈な雨を解析した板橋区付近 (18日18時00分までの1時間) や大田区付近 (18日19時30分までの1時間) で、非常に危険 (薄い紫色) の判定となった所があった。

大雨警報 (浸水害) の危険度分布

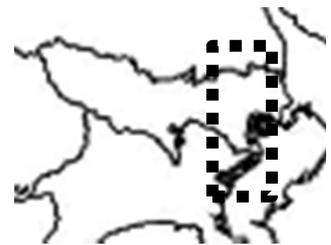
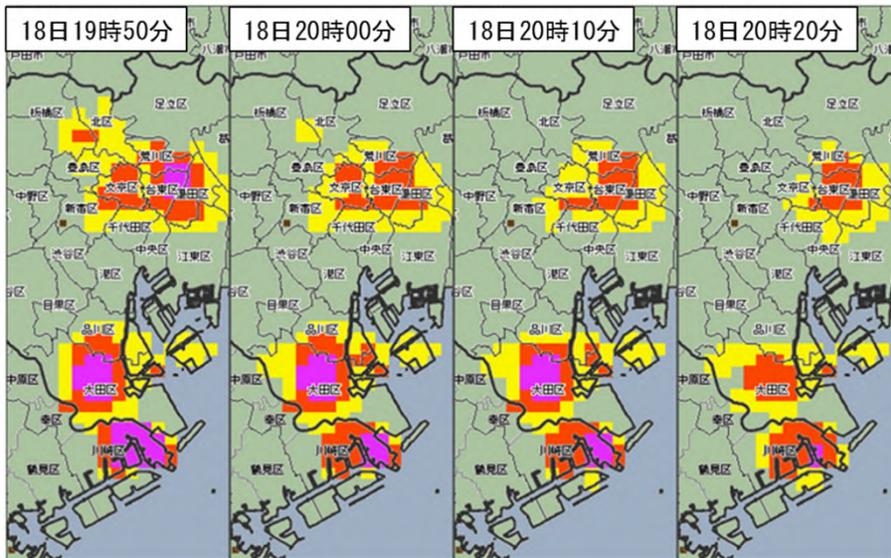
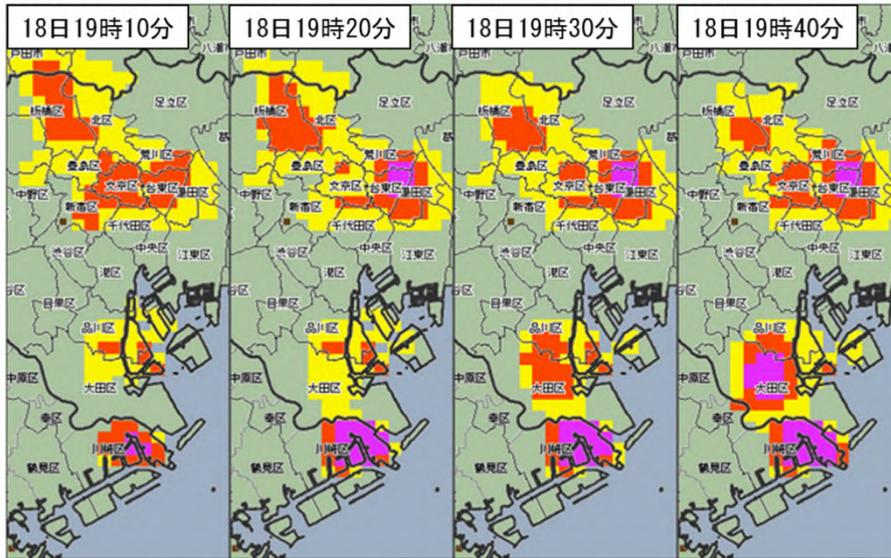
平成30年9月18日17時00分～17時50分 (10分毎)



解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1 km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。

大雨警報（浸水害）の危険度分布

平成30年9月18日19時10分～20時20分（10分毎）



表示範囲

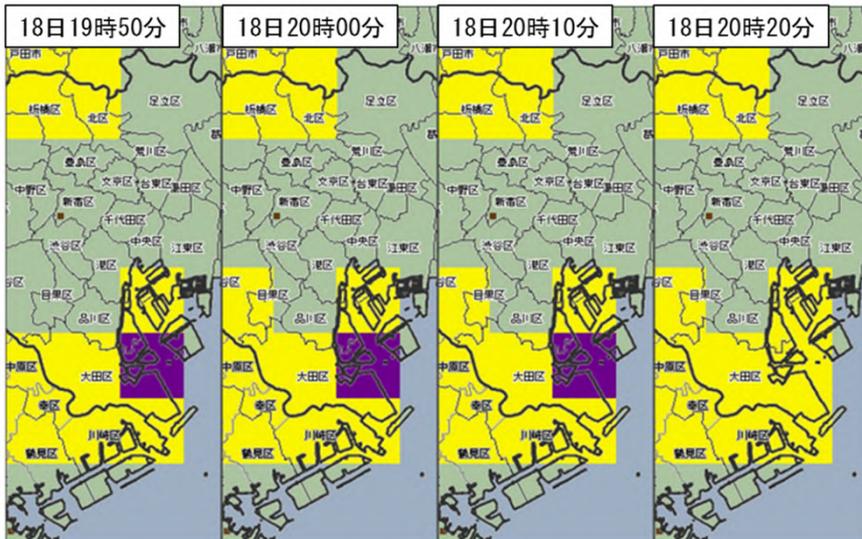
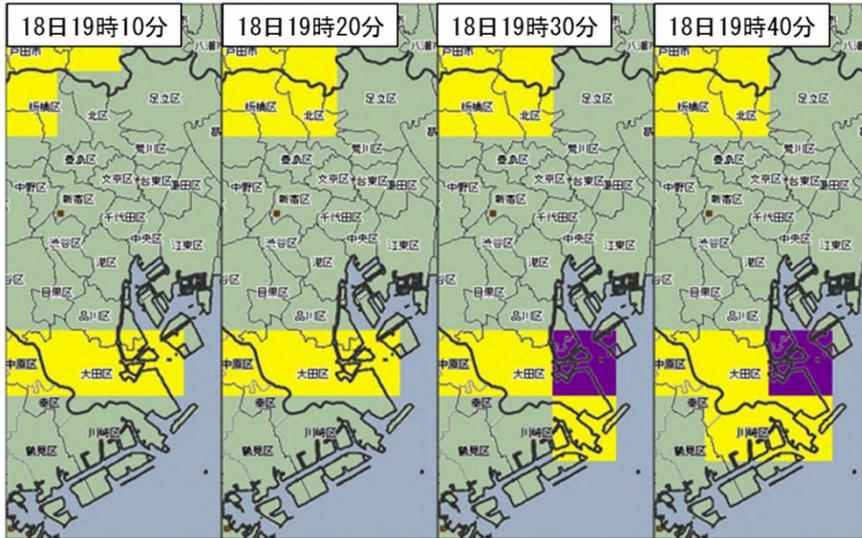
大雨警報（浸水害）の危険度分布の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	住民等の行動の例※1	想定される周囲の状況例
極めて危険 すでに 警報基準の一段上の 基準に到達	《表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達。すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。》	
非常に危険 1時間先までに 警報基準の一段上の 基準に到達すると予想	周囲の状況を確認し、各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階へ移動する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の遅延やキャンセルが出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒 ※2 (警報級) 1時間先までに 警報基準に 到達すると予想	安全確保行動をとる準備をして早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
注意 (注意報級) 1時間先までに 注意報基準に 到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、道路のアンダーパスには各自の判断で近づかない。住宅の地下室からは各自の判断で地上へ移動する。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が床下まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※1 大雨警報（浸水害）の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとってください。
 ※2 自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況です。

土砂災害警戒判定メッシュ情報（土砂災害の危険度分布）

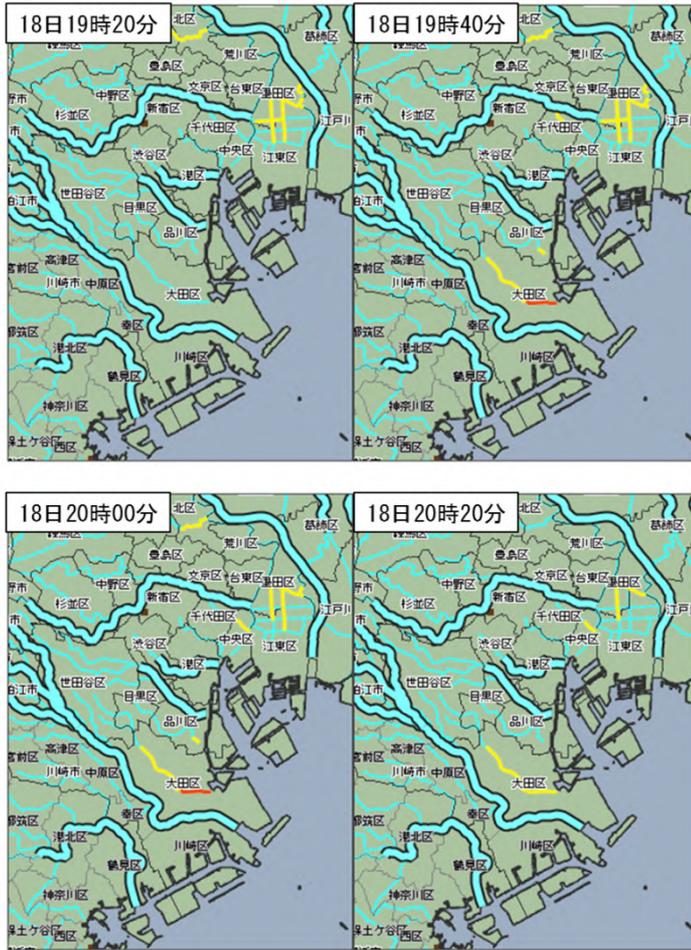
平成30年9月18日19時10分～20時20分（10分毎）



色	色が持つ意味	内閣府のガイドラインで、メッシュ内の土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等を対象に発令が必要とされている避難情報	住民等の行動の例	
高 危 険 度 低	濃い紫	極めて危険	避難指示（緊急）	避難を完了
	薄い紫	非常に危険	避難勧告	避難を開始
	赤	警戒	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等は避難を開始
	黄	注意	—	メッシュ情報の危険度をこまめに確認
	—	今後の情報等に留意	—	今後の情報等に留意

洪水警報の危険度分布

平成30年9月18日19時20分～20時20分（20分毎）



洪水警報の危険度分布の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	避難情報や水位情報等に応じた住民等の行動の例※1,2	流域雨量指数の各基準への到達状況とそこから想定される周囲の状況例
極めて危険 すでに警報基準の一段上の基準に到達	<p>《流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害（家屋の床上浸水等）がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。》</p>	
非常に危険 3時間先までに警報基準の一段上の基準に到達する予想	<p>重大な洪水害が発生するおそれか赤色（警報級）よりもさらに高まると予想されており、水位が氾濫注意水位等を越えていれば自治体から避難勧告が発令される非常な危険な状況となっているため、自治体の避難勧告を確認し、速やかに避難を開始する。</p> <p>＜避難勧告が発令されていない場合＞ 河川の水位情報を確認し、水位が氾濫注意水位等を越えている場合には、前述の状況を踏まえ、速やかに避難を開始することが重要。</p> <p>・山間部等の流が速い河川沿いの家屋、堤防を越えた氾濫水によって流失のおそれがある家屋や最上階の床の高さまで浸水する家屋等、自宅にこもることで命に危険が及ぶおそれがある住民等は速やかに応急避難を行う。 ・氾濫しても床上浸水にとどまる等、命に危険を及ぼさない河川沿いの住民等は、各自の判断で屋内安全確保（屋内の高いところや場合によっては屋上への避難）も含めた避難行動をとる。</p>	<p>流域雨量指数の3時間先までの予測値が、過去の重大な洪水発生時に匹敵する値（警報基準の一段上の基準）に到達する予想。</p> <p>水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫するおそれが高い。重大な洪水害（家屋の床上浸水等）が発生するおそれが高い。</p>
警戒（警報級） 3時間先までに警報基準に到達する予想	<p>重大な洪水害が発生するおそれがあり、水位が水防団待機水位等を越えていれば自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況となっているため、自治体の避難情報を確認し、避難準備・高齢者等避難開始が発令されている場合には、避難の準備をして早めの避難を心がける。</p> <p>＜避難準備・高齢者等避難開始が発令されていない場合＞ 河川の水位情報を確認し、水位が水防団待機水位等を越えている場合には、前述の状況を踏まえ、避難の準備をして早めの避難を心がける。</p> <p>〔・高齢者等は速やかに避難を開始する。〕</p>	<p>流域雨量指数の3時間先までの予測値が、重大な洪水害が発生しうる値（警報基準）に到達する予想。</p> <p>水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫するおそれがある。重大な洪水害（家屋の床上浸水等）が発生するおそれがある。</p>
注意（注意報級） 3時間先までに注意報基準に到達する予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。	<p>流域雨量指数の3時間先までの予測値が、軽微な洪水害（浸水）や家屋の床上浸水等が発生するおそれがある。</p> <p>水位周知河川・その他河川が増水し、軽微な洪水害（浸水）や家屋の床上浸水等が発生するおそれがある。</p>
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	<p>普段と同じ状況。雨のときは、雨水が河川に集まり流れ下る。</p>

※1 洪水警報の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。
 ※2 洪水警報河川の外水氾濫については、洪水警報の危険度分布ではなく、河川管理者と気象台が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難勧告等が発令されますので、それらに留意し、適切な避難行動を心がけてください。
 ※3 河川の水位情報は「川の防災情報」で確認してください。その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、早めの避難の観点から、速やかに避難を開始することが重要です。
 ※4 河川の水位情報は「川の防災情報」で確認してください。その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、避難の準備をして早めの避難を心がけてください。

土砂災害警戒判定メッシュ情報、大雨・洪水警報の危険度分布は、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）及び、洪水警報を補足する情報です。

最新の大雨・洪水警報の危険度分布はこちらをご覧ください（気象庁ホームページ）

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

3 特別警報・警報・注意報、気象情報等の発表状況

(1) 特別警報・警報・注意報

平成30年9月18日～19日 気象庁予報部発表

(千代田区～小平市)

発表時刻: 発表時刻
 : 発表時刻から警報
 : 発表時刻から注意報
 : 警報から注意報
 : 継続
 解: 解除
 赤文字: 警報
 浸: 浸水害
 土: 土砂災害
 土浸: 土砂災害、浸水害
 斜体字: 発表
 下線: 特別警報から警報

発表時刻	警報・注意報	千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	品川区	目黒区	大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	板橋区	練馬区	台東区	墨田区	江東区	荒川区	足立区	葛飾区	江戸川区	立川市	武蔵野市	三鷹市	府中市	昭島市	調布市	小金井市	小平市	
2018/9/18 10:34	雷注意報																																
2018/9/18 15:58	大雨注意報 雷注意報																																
2018/9/18 16:57	大雨注意報 雷注意報 洪水注意報																																
2018/9/18 17:25	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報															浸																	
2018/9/18 17:59	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報														浸	浸																	
2018/9/18 18:25	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報														浸	浸																	
2018/9/18 18:47	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸							浸	浸		浸		浸													
2018/9/18 19:12	大雨警報 洪水警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸	浸						浸	浸		浸		浸													
2018/9/18 19:35	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸	浸	浸					浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸											
2018/9/18 19:46	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸	浸	土浸					浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸											
2018/9/18 20:03	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸	浸	土浸					浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸											
2018/9/18 20:22	大雨警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報						浸	浸	浸	土浸					浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸	浸											
2018/9/18 23:12	洪水警報 大雨注意報 雷注意報 洪水注意報	解	解							解		解	解	解		解		解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	
2018/9/19 2:05	大雨注意報 雷注意報 洪水注意報	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解

(2) 府県気象情報

平成30年9月18日～19日

東京都 (気象庁予報部発表)

情報番号	発表日時	情報の名称
第1号	平成30年9月18日17時41分	大雨に関する東京都気象情報
第2号	平成30年9月18日20時13分	大雨と雷及び突風に関する東京都気象情報(凶情報)
第3号	平成30年9月18日23時18分	大雨と雷及び突風に関する東京都気象情報

(3) 土砂災害警戒情報

平成30年9月18日～19日

発表はありませんでした。

(4) 指定河川洪水予報

平成30年9月18日～19日

発表はありませんでした。

(5) 竜巻注意情報

平成30年9月18日～19日

発表はありませんでした。

(6) 記録的短時間大雨情報

平成30年9月18日～19日

発表はありませんでした。

4 東京管区気象台の対応状況

警戒体制等の状況

日時	体制
9月18日17時25分	注意体制
9月18日23時12分	注意体制解除

5 被害の状況（平成30年9月20日10時40分現在、東京都総務局による）

人的被害

なし

物的被害

床上浸水：14棟（北区2棟、板橋区12棟）

床下浸水：14棟（北区4棟、板橋区10棟）

非住家被害：2棟（北区）

道路被害1箇所：1箇所（北区）

ブロック塀等の被害：1箇所（大田区）

危険が迫る時間帯をお知らせする情報

大雨や暴風等に警戒や注意が必要な時間帯を一目で分かるように表示

○「警報・注意報」

気象警報・注意報(図表形式) : 朝倉市 その他の情報

地方 [] 府県 [] 市町村 [朝倉市] 印刷

朝倉市に気象特別警報発表中。
朝倉市に土砂災害警戒情報を発表中です!!

平成29年 7月 6日 10時09分 福岡管区气象台発表

福岡県の注意警戒事項
【特別警報(大雨)】福岡、筑豊、筑後地方、京築に特別警報を発表しています。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に最大級の警戒をしてください。

お知らせ 平成28年(2016年)熊本地震の影響を考慮し、みやま市では大雨警報・注意報の土壌雨量指数基準を通常より引き下げた暫定基準で運用しています。

=====
朝倉市【継続】大雨特別警報(土砂災害、浸水害) 洪水警報 雷注意報

朝倉市 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象
	6日					7日					
	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12		
大雨 (浸水害) (土砂災害)	70	70									浸水警戒 土砂災害警戒
洪水 (洪水害)											記号
雷											以後も注意報級 竜巻

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。
[警報・注意報\(文章形式\)へ](#)

- 危険度の高まる時間帯を色分けして発表
 - 市町村単位で発表
- ⇒ 何時、どのような現象で危険になるか確認

【各種別についての凡例】

- : 特別警報
- : 警報
- : 注意報
- : 今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
- : 今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
- : 今後警報に切り替える可能性が高い注意報

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○「警報級の可能性」

平成29年 7月 6日 11時00分 福岡管区气象台発表

福岡県筑後地方の警報級の可能性
筑後地方では、7日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。

福岡県筑後地方 種別	警報級の可能性								
	6日		7日			8日	9日	10日	11日
	夕方まで 12-18	夜~明け方 18-6	朝~夜遅く 6-24						
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	[高]	[中]	-	-	-
暴風	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[高] : 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
[中] : [高]ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況。

- 5日先までの警報発表の可能性を表示
 - 予報と同じタイミングで地域ごとに発表
- ⇒ 今後、現象がどうなるか確認

⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/warn/>



政府インターネットテレビ 河川の洪水危険度をリアルタイムで予測 危険度分布

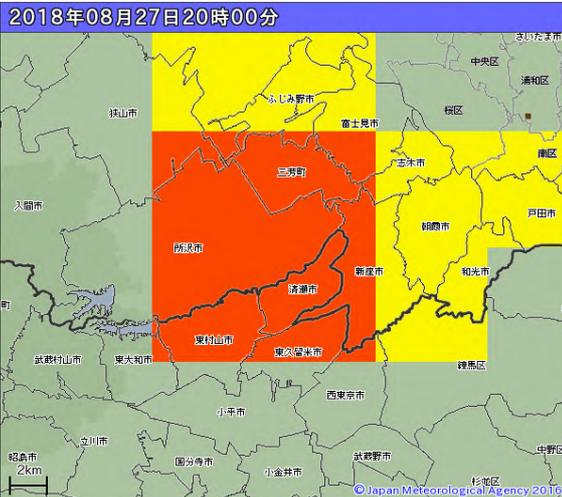
大雨時にインターネット上で公開している洪水警報の危険度分布は、全国約2万河川の危険度を5段階に分けて表示しています。動画では、これをどう活用できるのか、事例に照らして紹介しています。(約6分)

⇒ <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg16847.html>

土砂災害・浸水害・洪水害発生の危険度分布

雨によって引き起こされる災害発生の危険度の高まりを5段階で表示

○「土砂災害」

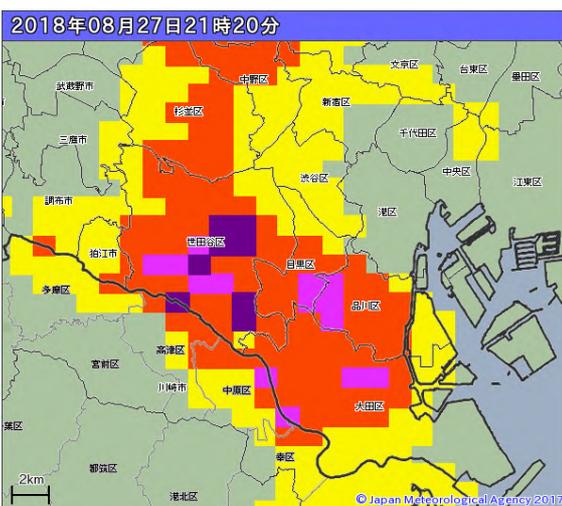


土砂災害警戒情報及び大雨警報(土砂災害)等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認



⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>

○「浸水害」

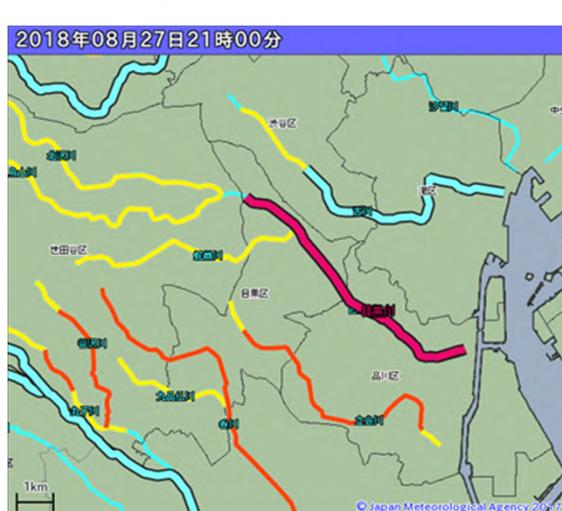


大雨警報(浸水害)等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認

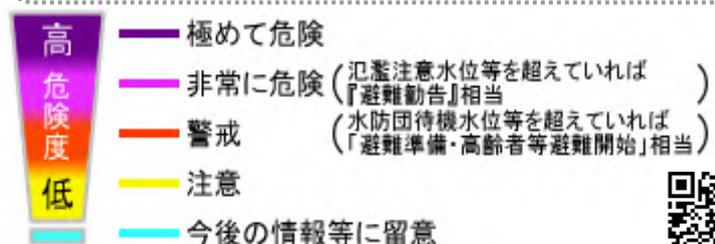


⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

○「洪水害」



洪水警報等が発表された市区町村内において実際にどこで危険度が高まっているかを確認



⇒ <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

問い合わせ先

東京管区气象台

気象防災部 防災調査課

電話 03-3212-8341 (内線5564)

<https://www.jma-net.go.jp/tokyo/>

本資料は、複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。利用を行う際は適宜の方法により、必ず出所(東京管区气象台)を明示してください。

その他、利用にあたっての詳細は、東京管区气象台ホームページの利用規約(https://www.jma-net.go.jp/tokyo/sub_index/copyright.html)をご確認ください。